



▲ シラタマホシクサ。別名 コンペイトウグサ (昔の写真です)



金光寺寺報 第259号 発行所 金光寺 宮崎県西臼杵郡 五ヶ瀬町大字鞍岡 5927番地 0982 83-2338

今月のことば 法語カレンダー

世の中に最も度し難いものは他人ではない この私 稲城選恵

『蓮如上人御一代記問書』百二十一条く一宗の繁昌というのは、人が多く集まり、勢いが盛んなことではない。たとえ一人であっても、まことの信心を得ることが、一宗の繁昌なのである。だから、『報恩講私記』に、「念仏のみ教えの繁昌は、親鸞聖人のみ教えを受けた人々の信心の力によって成就する」とお示し下さっているのである。の解説のなかに出てまいります。

稲城和上は、いかに満堂にあふれるほどに参詣者があっても「名ばかりの門徒」では意味がなく、蓮如上人がおっしゃるように、お参りしている一人ひとりが信心を得る身となることが大切なのだ、と書かれ、「お寺の宝物は、重要文化財のようなものではない。一人の信心を得た人が、生きたほんとうの宝物というべきである。この一人とは、私そのものことといわねばならない。世の中に最も

度し難いものは他人ではない、この私そのものである。

親鸞聖人は、信心を得るとは、「仏願の生起本末」を聞いて「疑心がない」ことだと示されています。生起とは本願が起こされたきっかけのことで、阿弥陀如来が法蔵菩薩であられたときに、大慈大悲にもよおされて、一切の衆生を平等に救おうという本願を建立されたことを言います。また本末とは、その本願と修行によって(本)、阿弥陀如来となり浄土が完成されたこと(末)を言います。つまり、阿弥陀如来の本願が実はこの私のためであったのだと、そのまま素直に受け入れることを信心を得たと言うのですが、これが簡単にはいかないのが凡夫・衆生の現実なのです。

(本願寺出版社刊「大乘」誌掲載 『月々のことば』より抜粋 転載)

仏事お休みのお知らせ

下記の日には緊急を除き仏事はお受けできません。ご協力をお願いします。

- ◎ 2月 15日(午後) 18日午後~19日(終日)
◎ 3月 10日(終日) 15日(終日)

1月、次の金光寺門信徒の方がご往生なさいました。謹んでお悔やみ申し上げます。
2023年1月12日満94歳 スクナ原 甲 斐 キミ子 様
2023年1月23日満42歳 折立 甲 斐 賢 治 様
2023年1月31日満52歳 小切畑 吉 岡 重 徳 様

鞍岡の1月の天候 (アメダス)
最低気温・-9.3℃(25日)
最高気温・16.0℃(14日)
冬日日数・21日/31日
真冬日日数・2日/31日
月間総雨量・70.0mm(降雨日数・12日)
一日最大雨量・21.5mm(14日)

ホームページ開いています。

URL https://konkouji.jp/

2月7日現在アクセス数 139,395人

しの手いをさまそれま少ケの明が務して上でけるが今ので降んなし欲
(よ中つ継てあんだうてす年もエるお時たいでし、の一日出ほるでくかし立
涙うでとぎいげ、にし。時上1く亡代▼まゴた答か何六番しのし除つい春
)ーめ寺まで私お焼まお代手ス朗くに閑す口。えー故日がくでた雪たでを
(とのおまのしねが元酌う酒はでアらなお話。ゴそはと、のああす。機です過
住)伝浄しごたー亡気を私も今十夕かり世休本口のイ北テりりが例のすねぎ、
え土た住のとくだ飲を強もハツでに話題当寝人イン海しまま、年出が。
まで。職で言なつま横く耳番カバなに。に転の夕道ビせせで二番、一暖
しまそと、葉たれ目すに井1しりな先樂が子レビにでんんき月は降月か
たたし通おをた頃てにく残上、1まっ月しっ供ユ旅台よ。れにあ雪はく
。会て夜通いら、ま美にっ陽カボした役そては1行湾う除ば大り量寒な
い、勤夜たお松し味つて水ラ1た女場う遊雪をにのに雪降雪まははっ
ま心行にだ経井た。しぶいのオル。性勤でんの受来方!機っがせ少厳

住職ひとりごと

Table with 2 columns: Date and Name/Event. Includes entries like 元旦会, 本山前坊守釋妙順 月忌, 霧田スミ子様 五・七日忌, etc.

金光寺のひと月